

目的・目標

若手クリエイターに海外展開を見据えた公演の企画・制作の場と海外での上演機会を提供することで、グローバルに活躍するクリエイターの育成と世界的に高い評価の獲得を目指す。また、活動を通して、海外演劇団体との連携を強化し、ネットワーク形成を促進する。事業終了後も、本プロジェクトで培った人材や海外ネットワークを通じて、永続的に若手クリエイターの活躍を支援し、海外へ優れたコンテンツを輸出する基盤を形成する。

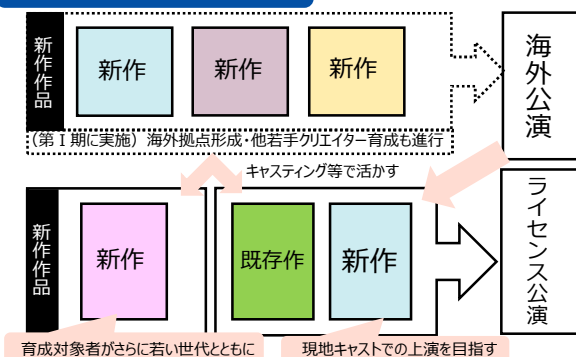
概要

若手クリエイター9名（演出家、作曲家、振付家、振付家兼俳優、美術家、プロデューサー）を起用し、1年目～2年目は、上演歴のある作品の海外公演等を通して海外基準の創作の過程や交渉方法を学び、成果発表として3作品で2カ国40回以上の海外公演を実施する。2年目～3年目は、若手クリエイターが主体となって3作品を企画から海外での上演まで（海外公演は第Ⅱ期の予定）を担当する。加えて、全期間を通じて国内外で活躍するクリエイターが指導者となり、世界トップレベルの公演の企画・制作を支援する。

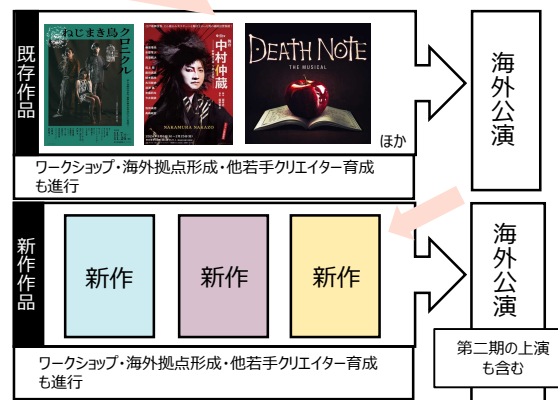
3年目までの取組

育成対象者はワークショップ等を通して海外クリエイターによる舞台制作の進行方法や、交渉術等を学ぶ。また、日本で上演歴がある作品の海外公演やライセンス公演を行い、準備から上演までの経験と現地での評価を得る機会を設ける。また、海外公演の際は別途現地ワークショップを開催するなどして、新たな拠点形成を推進する。さらに、4年目以降の海外公演を見据えて、オリジナル新作舞台の企画・準備を行う。なお、育成対象者は海外視察を行い、海外ニーズや流行の調査、海外拠点形成や現場見学を実施する。加えて世界に通用するその他のクリエイター育成のために、少なくとも年に1回以上、作曲家による育成プログラムを実施する。

5年目までの取組



指導者の下、海外公演上演のノウハウを学ぶ



育成対象者が企画から海外公演上演までを担当

第Ⅰ期にて海外公演に向けた準備をした作品については、4年目までの海外公演の実施を目指す。第Ⅰ期での海外拠点を活用し、海外批評家を招聘するなどして、国際的評価の獲得を図る。また、第Ⅰ期で海外公演を実現させた作品については、ライセンス公演交渉を進め現地キャストでの上演準備を始め、5年目に上演することを目指す。また、育成対象者が本プロジェクトで得た知識や経験、コネクションを活かして、海外展開を見据えた新しい企画を、さらに若い世代のクリエイターとともに立ち上げ、国内外で上演することを目指す。

(分野・ジャンル)

・舞台芸術(演劇)

(渡航先の国・地域)

・韓国(2024年・ワークショップのみ、2026年)

・イギリス(2025年、2026年)

・香港(2025～2026年)、上海(2026年)

・シンガポール、ロサンゼルス、オーストラリア、ドバイ(2025～2026年)

(国内外の連携・協力体制)

・国内外のクリエイター、劇場担当者、制作会社と連携

成果目標(見込)

目標値

企画段階から海外公演等までに登用される若手クリエイター等の数

23人

国内外の団体・企業等との連携数(連携団体数、事業提携数、拠点形成数など)

71件

プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数

120人

国内外で展開される公演・展示等の数

395回

国内外で展開される公演・展示等の入場者数

420,000人

中核となるクリエイターやアドバイザー

篠田麻鼓(株式会社ホリプロ 執行役員 公演事業本部部長)

【略歴】2001年 株式会社ホリプロに入社。

公演事業部にて舞台制作者としての下積みを積み、プロデューサーに。

2016年 公演事業部 副部長

2019年 公演事業部 制作部長

2022年 執行役員 公演事業本部部長

【役割】プロジェクト全体の責任者で指導者のひとり。

育成対象者：9人

【職種】演出家、作曲家、振付家、美術家、プロデューサー

【選定方法】国内にて豊富な実績を持ち、国内の演劇賞を受賞するなど国内の評価も高く、当社との関係性を既に構築しているクリエイターを選定した。

【補足資料】

